

(仮称) 宮前区「希望のシナリオ」実現プロジェクト

宮前区ソーシャルデザインセンター立ち上げワーキンググループ

全体ミーティング1

令和4(2022)年7月24日(日) 13:30~16:30

ワーク② 個別ミーティングに向けた準備

00:04

株式会社石塚計画デザイン事務所 千葉:

- シール貼りがどんな感じだったかっていうのを、千葉と吉川で同じようなことを両側展開してるので、分散しちゃってるので、ピッタリ合わせて表現できないかもしれないんですけど、振り返ってみたいと思います。
- 黄色でグリグリっと枠を書いているところにはシールが多く集まっているというイメージです。
- まずそういうところから紹介していくと、このサクラシールがめちゃくちゃ貼られているのは、**子育てを支援する**取組っていうところに、たくさんシールをいただいています。
- ポツポツと貼ってあるんだけど、群としてみたときに、1つこういうかたまりがあるよねってところが、**個人のやりたい提案の実現を支える**とか、**課題を汲み取る**とか、**仕組みを考えたい**みたいなところのシールっていうのが、これは、3色どれも貼られているっていうことかなと思います。
- それってこっち[体制図]でいうと、**個人の意見・思いが実現する**っていうところにシールを頂いているので、個人レベルからSDCに関わっていくとか、色んな意見を吸い上げていく、汲み取っていくってところが大事だよっていうシールを頂いております。
- そして、[体制図と模造紙の2箇所について] こことこなんですけど、**楽しいと思ってやれる**っていうところはこっち側[体制図]のシートにすごいたくさん頂いています。サクラ3枚、オレンジ2枚と青3枚頂いています。ここは、私の書き取りでは楽しいとか負担感なくとかわくわくってようなことに貼られていて、こっち[模造紙で]は、新しい人がどんどん入って楽しくリラックスできるといったところに入っています。
- ここ[模造紙]に青シールがグワッと貼られているのは、**若い人が参加しやすい**ってところ。これは、「やるべき」のシールが5枚も貼られているというのが印象的でした。
- あと、これはすごく面白いんですけど、オレンジがすごく貼られていて、見ると区のシールが多いんですけど、**公共性のお墨付きを与える**というところに問題意識を頂いているということです。
- というようなことが傾向としては出てきてるのかなっていうのと、**宮前って何っていうのを言葉で語れる**とか、集まれるとかっていったところにもシールを頂いたりしているということです。
- これを無理やりまとめちゃうってというのは、多少無理はあるんですけど、この会自体をそろそろまとめなきゃならないので、ワーク2っていうところで、今後どうするかっていう話を前半しました。
- 全体のまとめをしたいね、全体像ってどうなのかっていう話をしていきたいっていうのと、立ち上げ時の取組機能の企画をしていきたいっていうことで、こういう企画シートっていうものをどんど

ん出していきたいっていう風に思っています。

- なんか、「こんな書かなきゃなんないの」って言う目で見るとうわあっていう感じするんですけど、なにかやろうっていうときに少し埋めていくと、何をやるか具体的に見えてくるっていうシートだと思ってください。
- これはさっき、佐々木さんの話に出てきたこととも関係するんですけど、今年の出口って、組織の一番最初のスタート像をつくりたいっていうのが最終出口なんだけど、その手前に、例えばお試シラウンドテーブルを何か回してみようとかっていうことが、必要に応じてあればいいなと思いました。
- それは最初に思ったことなんで、今日この議論を経て思ったのは、例えば、相関図とかそういうものが既にあるんだから、そういうところからもっとニーズを引っ張って見たらどうか。
- あと、さっき具体的に若い人に意見を聞いたらどうかっていう話っていうのは組織を立ち上げる前の今年の段階で、例えば、なんとか祭りで聞いてみようとかいうことはできるかもしれないし、もしかしたらそもそも各所が持っている人たちに共通アンケートで配って聞いてみるとかいうのは今年の取組としてできそうなことかもしれないなどと思ったんで。
- 例えばそういう、意見聞いてみようプロジェクト企画っていうのをお試シで今年やり、実際にやる時にはどういう人を対象にして来年スタートするかっていう出口が最後企画で書ける。
- そういうイメージで、2種類の実践、今年試しにやってみることを来年の頭にこういう像でやることっていうことを考えるためのたたき台シートとしてこれを使っただけであればというものです。あくまでもツールだと思ってください。

04 : 48

- 次に、この人数が全員集まるスケジュール調整っていうのがすごく難しそうだっていうことがあって。既に今日も、色んな事情で欠席になった方がいるのでそもそも日程調整上のももあるかもしれないので、どうやって連絡をとったら、この人たちが集まれるのかっていう問題もある。
- それについては、LINE を皆がもし全員使っているようだったら LINE で連絡調整をすとか、メールを全員使ってるようだったらメールで調整するとかっていう、連絡を取る手段みたいなものを何らか考えておきたいっていうことと、どれくらいの頻度で会うかとか、次の日程をどうするかみたいな話の目鼻をちょっとここでつけられたらいいなっていうのがあと 10 分ぐらいの目標です。
- もう一つは、ちょっと今日の意見をシール投票の結果を見ていったときに、このまとめがすごい良いのかどうか分からないんだけど、大きく 4 つで、かつ 2 つのグループとかに分けられるんじゃないかっていう風に案を考えてみました。運営目線と来て欲しい人向け目線っていうのがざっくりとした区切り、ここで上と下に区切れてます。
- **運営目線**では、すごいまとめちゃってるんですけど、SDC の運営体制、メリット。そして、今日すごくたくさん頂いたんですけど、楽しく関わる仕組みって何っていうことの議論をするグループっていうのがあるのかもしれないと思いました。
- さっき佐々木さんから出てきた、下支えとか深く関わる人、要は、基本楽しくやるんだけど、どっかで事務局的なことをする人がきつといるんですよね。それはもう何人なのかかわからないです。
- 多分うちの財団でも、私も含めて無償で活動してるんだけど、有償の理事っていうのが 2 名いて、そこは死守ポイントなんです。そこは働いてくれないと連絡が行かないとか、会計ができないとか、

そういう事があったりするギリギリラインの下支えってどういうものなのかっていうのを考えたり、ざっくりどうやってお金、その人を支えるのってというようなこととかももしかしたら考える必要があるのかもしれないです。

- そういう議論が深まったら良いなっていうのと、たぶんこのグループでやると良いのはゴール、目標設定、ロードマップっていうのがセットになって、最初はこうだけど、ある段階にいったら少しちゃんとした組織体制にしていこうとか、最初は皆で集めたお金でなんとかしてるんだけど、最終的には給料を払えるようにしようとか。そういう像を語れる人が運営サイドの議論をしたらいいな、と思いました。
- **区民サイド**方は子育て層にすごいシール貼られました。あと、若い世代っていう議論もさっき頂きましたね。男性の若い人はどこにいるんだろうとかっていう話もあった。
- あと多様な世代ってということで、さっきウェルカム部会の話もありましたけど、外国の方がこのSDCを最終的には言葉の壁で利用できないものなのか、そういう外国の方も含めてSDCに頼れるとかっていうこともあるかもしれないので、「多様な」っていうときの多様って結構しっかり考えていくと深い話だなっていう風に思ったんですよ。
- そういう新しい人とかが参加できる仕組みってどういうことなのかっていうのを、ありがたいことにほんとに色々な関わり方の長さが違う人がここに集まっているので、忌憚なく話せると良いなって思いました。
- あと、宮前の魅力、SDCの役割をわかりやすく伝える情報発信ということ。一緒ではないかもしれないんですけど、区民向けとしてはこういう切り口があるかもしれないということで分けてみました。

グループ分け、関心分野や連絡手段について話し合いました！

08：49

千葉：

- じゃあLINEで基本連絡を調整するし、スマホでも読み取れるようなLINE IDを共有とすると。それは、事務局仕切りでやりますということです。なのでご協力というか、繋がっていただくようお願いいたします。
- 一応こういう事になっているんだけど、たぶん議論していくうちに全然もっと掘り下がってくるし、詰めることは変わってくると思うので、今日皆が話してることの中では一旦こういう風に整理させていただければと思います。

09：21

秋岡氏：

- 参考意見なんですけれども、市民協働推進センターってのが横浜市にありまして、それが、今我々が目指しているSDCと方向性が同じようなんです。そちらの方から、考え方のフローがあったらという風な意見があったんですけど、そこが市民協働推進センターが目指してる、こういうリーフレットの中に、物の考え方のフローが出ています。こういうものを参考にされたら考え方を整理

する近道じゃないかなという風に思います。

- それで私疑問に思うのは、同じ神奈川県なのに名前こそは違うソーシャルデザインセンターと横浜市の市民協働推進センターと方向性は同じなのになんで情報が伝わっていないんだろうというようなところが不思議でなりません。折角こういう良いリーフレットが出回っているのに、コンサルの人もそうなんですけど、それをなんでたたき台にして考え方を整理して我々に提示してもらえないんだろうかというのがもったいないなという風に感じた次第です。

10:37

千葉:

- ありがとうございます。今、視察っていう方向の話もあって、例えば、仰る通りで隣の横浜でやっているものの視察であるとか資料集めて話聞いてみるとかっていうことを通して、宮前区で何か吸収できるかっていう話の検討もあると思います。
- あえて今、この場ではここに視察に行ったら良いんじゃないでしょうかという情報は今回出してないんで、むしろ今みたいにここ良いんじゃないかっていう話をどんどん頂くか、全然どこに行ったら良いか分からないんだけどっていう話になったときには少しこちらからの情報提供するということがあると思っています。
- あともう一つは、仰るようにこれが下敷きにあるんでこれにしたらいっていうことをベースに今回案は作ってなくて、4年間検討したことが逆に積み上がっていったらどうなるのかっていうような検討の仕方をあえてしてきました。
- なので、ここから今年のことについてはそれをもとに、じゃあ横浜のケースからここがいただけるよねとかいうことが絶対出てくると思うので、ここからはリアルに具体的事例に入っていければなと思っています。
- あと、次回の日程はどのぐらいのタイミングで次回をやるかということなんですけど。

次に集まる日程(仮)を決めました! : 8月11日(木・祝)

12:13

千葉:

- 8月11日を仮にとさせていただいて今日出席していない方の塩梅とかもありますので、そこが変わるようでしたらまたご連絡差し上げるということと、LINEを通した連絡ということで、それもまた調整することになりますので、参加していただくということでよろしくお願いいたします。
- 役割分担で細かいこととか色々出てくるんですけど、検討が個別ミーティングが始まった時に詰めていただいたほうが良いのかなと思いますので、次の宿題にしたいと思います。
- かなりインプットも長いし自己紹介からなにかからてんこ盛りだったんですが、私の全体的な感想として、やっぱり長年議論して、長年積み上げてきたことなのでちょっと重く堅くなってきたようなところがあったんですけど、やっぱり楽しいと思ってやれるとかちゃんと続いていくっていうこと。
- あと、この時期にこれやりましたよね、まち協であるとか区民会議であるとか今まで色んなことが

検討されてきている先にあるものとしてどうあるかっていうことをちゃんと議論しなきゃなっていう話だったり、今あるものがどう繋がっていくのかっていう話でもあると思いますので、新しくつくるからこそ今までないし楽しくできるっていうことを、今日この皆さんから沢山そういうことをいただいているのが活きた SDC になったら良いなって改めて私も思いました。

- この全体ミーティングはまたずいぶん先にこういう場は設定されているので、こういう形でお会いするのは次になりますけど、今度個別ミーティングの中で色々お手伝いすることもあるかと思しますので引き続きよろしく願いいたします。では、私からは以上です。ありがとうございました。

14:01

宮前区役所企画課課長 小出：

- 本日は長時間に渡りご参加いただきましてありがとうございました。活発な議論と円滑な進行にご協力いただきまして感謝申し上げます。
- 本日、皆様の意見交換の様子を拝見しまして、改めて宮前区の皆さんの宮前愛の地元の愛の深さですねその愛に基づいて具体的に行動を起こす事ができる方々が沢山いらっしゃるということを実感いたしました。
- 皆様のような方々によって宮前区、そして宮前区役所は支えられているっていうことを実感いたしまして、改めて宮前区の力ってすごいなって思いました。
- 次回以降も実り多いワーキングにしていきたいと思しますので、引き続きご参加の程お願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。お疲れ様でした。

14:51

宮前区役所企画課 山田：

- 引き続き今日はスタート地点なので、また個別ミーティングで進めさせていただきたいなと思しますので、またご連絡させていただきます。
- また、この間何か、今日感じた事とかご意見があればメールいただければこちらで次の進め方にも参考にさせていただきたいなと思しますので、ドシドシとお寄せいただければなと思します。本日はありがとうございました。